

2023年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
音楽基礎A 2											
対象	1 年次	開講期	後期	区分	必修	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	田熊 知存			実務 経験	有	職種	作編曲家				
担当教員紹介											
幼少の頃からエレクトーン・Jazzピアノを習い、コンクールで優秀な成績を収める。様々なアーティストのサポート演奏や楽曲提供を手がけており、幼い頃に影響を受けたDisney音楽のような歌心がありファンタジックな曲の制作を得意とする。											
授業概要											
思い描いた楽曲を形にしていくにはDAWを直感的にコントロールできることが不可欠です。この授業では、DAWの基礎知識や構造から鑑みた、合理的に楽曲を形にしていく過程を学びます。DAWの立ち上げから、基礎的なインターフェースの理解、企業から与えられた発注に即座に対応できるよう、スピーディーなDAWの操作、データ管理の概念、また、実演家としてのAuthorを想定し、アコースティック・エレクトリック両方に対応できるDAWの特徴、操作方法を学びます。											
到達目標											
本科目は、少人数制による時間毎のトレード方式にての進行となっており、1年次前期までは、基本的なCubaseの使い方、起動時より不具合があった際のトラブル対処方法まで、DAWを起動～基本操作が行える、までを目標に授業が進行する。2年時には、1年時のノーテーション/アレンジクラスで習得したデータを、実際にCubaseにプログラムしていく、という実践を行い、サウンドエンジニアリングクラスの授業とも連携し、Cubase1台で、ミックス、マスタリング、ステム納品まで行える即戦スキルを身につける事を到達目標とし、クライアントやレコード会社の発注に忠実なトラック制作を行える柔軟なトラックメーカー/企業作家としての技能を習得することを到達目標にしている。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。											
授業方法											
この授業では、学生個々が元々持っていたスキルを加味しながら、基本、個別対応方式で進行する。全くDAWを触った事のない学生、既にDAWの操作に慣れている学生等、色々な学生のスキルを理解し、その学生それぞれに、どのように伝えればDAWを理解し、自分が思っている音楽が制作できるか、というクラスのバランスを意識しながら、他の生徒との差異をコンプレックスに持たないような授業を展開いたします。授業で教えるべき基礎内容だけでなく、現役で活躍しているトラックメーカーの即納の裏技など、中級者も上級者も常に興味を持ってプログラミング技能を発展させることを目指す。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
この授業では、昨今の音楽業界の常であるセントラルダウン方式で既にキャリア形成を行っている既得権益層から認められなければ仕事は取りにくい、との観点で、礼節・マナー・納期（約束）を守るか等について、音楽の善し悪しよりも厳しく監察・評価を行う。理由のない遅刻や欠席は、それらが如何に致命的であるかを柔らかく指摘する。授業に出席するだけでなく、コミュニケーション能力を高める為、学生同士のカンファレンスの機会を多く取り、インタラクティブな授業展開で他人からの情報も多く吸収し、技能の向上に努める事を目標とする。出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
毎回授業にて資料配布を行う 参考書・参考資料等は授業中に指示をする											
回数	授業計画										
第1回	分数コードと転回形を理解する										
第2回	Suspended4thコードの構成音とAvoid Note（アヴォイド音）について理解する										
第3回	Suspended2ndコードとAdd9thコードの構成音について理解する										
第4回	同主調と平行調を理解し違いを確認する										
第5回	関係調の同主調と平行調を理解する										

2023年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
音楽基礎 A 2	
第6回	モーダルインターチェンジ（拝借和音）について理解する
第7回	モーダルインターチェンジの機能とカデンツについて理解し使用法を学ぶ
第8回	和音・転回形・調についての理解度を確認する
第9回	セカンダリードミナントについて理解する
第10回	セカンダリードミナントの機能とカデンツについて理解する
第11回	ツー・ファイブとハーモニックマイナー・ツー・ファイブの内容を理解し分析する
第12回	related II ^m 7を理解し楽曲における起用方法を学ぶ
第13回	セカンダリードミナントとrelated II ^m 7の関係性を理解し使用法を学ぶ
第14回	和音・調整・機能・カデンツ・Chord Progressionの復習と確認
第15回	後期授業内容の理解度を確認